

事業番号	0	8	5
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	文化財啓発事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	平成19年度 ~ 令和2年度以降				担当課	生涯学習課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	15	展開方向	3							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	06	大	02	中	02

2. 実施状況

【平成30年度の実施状況】

○文化財啓発事業調査研究委託

埋蔵文化財以外の文化財の調査や文化財に関する講座の企画・運営等の啓発事業を、学校法人足立学園(愛知文教大学)に委託して実施した。

[実施状況]

- ・歴史文化基礎講座 3回 計155名参加
- ・歴史講座 5回 計959名参加
- ・食講座 2回 計38名参加
- ・古文書講座 7回 計287名参加
- ・文化財巡り 2回 計50名参加
- ・古文書の調査や信長に関連する書籍の収集

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	17,750	17,648	9,776	9,691
			国・県支出金	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	352	224	309
		計(A)	千円	17,750	18,000	10,000	10,000	
	対前年比	%	-	101.4%	55.6%	100.0%		
	(当初)予算額	千円	17,800	18,000	14,000	10,000	10,000	
人件費	正職員	人	1.2	1.2	1.2	1.2		
	正職員(平均人件費)	千円	8,983	8,983	8,983	8,983		
	その他職員	人	0	0	0	0		
	その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0		
	計(B)	千円	8,983	8,983	8,983	8,983		
事業費合計(C=A+B)		千円	26,733	26,983	18,983	18,983		
指標	成果指標	講座等の受講者数	目標	2,700	2,700	1,900	1,300	
			実績	2,645	2,715	1,991	1,489	
	活動指標	講座回数	目標	20	23	16	19	
			実績	28	25	19	19	
		目標						
		実績						
	@事業費	受益者数(a)	人	2,645	2,715	1,991	1,489	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	10,108	9,939	9,535	12,749	

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<p>・活動指標である講座回数の減少は、講座の実施回数を見直したことにより減少したものである。古文書入門講座では、平成28年度までは前期と後期の2回に分けて計11回開催していたものを、平成29年度からは前期と後期に分けず7回のみ開催に変更、歴史講座では、平成28年度まで8回開催していたものを平成29年度以降、5回に変更した結果による。</p> <p>・成果指標である受講者数の減少は、上記講座回数を見直しにより講座受講者数が減少したものである。また、平成30年度以降の減少は、平成25年度～平成29年度に開催していた「こまき信長・夢フォーラム」を終了したことが主な要因である（「こまき信長・夢フォーラム参加者数」平成27年度：約700名、平成28年度：約500名、平成29年度：約600名）。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性 削減額・対象	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>・国民共有の財産である文化財を調査・保存・記録するのみでなく、講座等の開催を通じて市民意識の高揚を図り、貴重な文化財を後世へ継承していくためには、継続して事業を実施していくことが必要である。また、講座等の開催を通じて、市民意識の高揚を図ることが重要であり、その手法として講座の継続開催は必要と判断した。</p> <p>・しかしながら、受講者にはリピーターが多く見受けられることから、講座によっては前回受講者は受講不可とするなどの応募者の制限をしたり、若年層や親子を対象とする講座を増やすなど、幅広い年代やこれまで学んだことがない方が受講できるような仕組みを今後検討していく。</p> <p>・今後も多くの方に小牧の歴史や文化財を知っていただき、文化財の保護・保存・活用への理解に繋がるよう、講座内容や実施回数を見直し、会場や開催時期の変更等を検討していく。</p>				